

令和5年度 学校経営計画書

学校番号	10	学校名	静岡北特別支援学校	校長名	原田 満紀
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

「夢中」と「笑顔」で共生社会を生きるひと

(2) 目標具現化の柱

**ア 主体的に学び、社会参加・自立に必要な力をつけることができる学校【専門性】**

- (ア) 知的障害教育校として、学校体制でのカリキュラム・マネジメントと、静北版OJTによる「技」の伝え合いを行い、児童生徒に確かな力を育成する。
- (イ) 開校50年目を迎えた本校の校風と組織力を強みに、特別支援学校で働くことの「魅力」を語り共有できる環境づくりと「効率よくかつ迅速な」業務遂行に努める。

**イ 安全・安心な生活ができる学校【安全・安心】**

- (ア) 教職員自らが人権感覚を高め、児童生徒の人権尊重の精神を涵養する。
- (イ) 児童生徒の授業の充実と健康に配慮した居場所づくりのため、本校の状況を最大限に生かした学習環境の整備に努める。

**ウ 家庭や地域、関係機関と共に歩む学校【連携】**

- (ア) 地域資源を活用する学習（麻活）を充実させ、地域に発信し、地域に根ざした学校になる。
- (イ) 個別の教育支援計画と個別の指導計画を活用し、保護者、学校、各種機関等が児童生徒を中心に連携する。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載） \*「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
専門性	学校体制でのカリキュラム・マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統性と教科等横断的な視点を押さえた年間学習指導計画の実施・評価・改善</li> <li>・授業づくりのPDCAサイクルにおける学習指導要領の活用方法の明確化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の状況、学年の押さえ、学習指導要領の目標・内容、単元や題材の持ち味等から授業の根拠を語ることができる教員100%</li> <li>・授業の根拠について説明を受けたと答える保護者95%以上</li> </ul>	教務 体育 文化芸術 研修 学部
	児童生徒理解に基づく「夢中」と「笑顔」の授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒ができた喜びを感じ、学びを広げるためのまとめや振り返りの工夫</li> <li>・GIGAスクール構想による端末を使用した授業の推進</li> <li>・専門性向上に資するあらゆる場面での「技」の伝授、静北版OJT研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業が楽しい、できるようになったことが増えたと答える児童生徒や保護者80%以上</li> <li>・タブレットを使用した異なる授業実践 2回</li> <li>・あらゆる場面での静北版OJT研修で「技」の伝え合いを行った教員100%</li> </ul>	自立活動 情報教育 研修 図書 学部

専門性	月45時間以内を目指した時間外勤務の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退勤時刻の申告と見える化による共有、言葉の掛け合い</li> <li>・会議時間を守るための資料事前配布と話し合いを活発にするための議題精選及び双方向の場づくり</li> <li>・業務の共有化を図るため、業務改善の継続（事務）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で決めた時刻の退勤を目指し、タイムマネジメントをした職員100%</li> <li>・時間内の終了と双方向の場づくりを目指した会運営に参加又は協力できた教職員100%</li> <li>・事務室から教員への確実な情報提供100%</li> </ul>	学年 学部 教務 事務
安全・安心	自他を尊重しあう環境の維持向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いに挨拶と感謝の言葉を積極的に掛け合う雰囲気づくり</li> <li>・セクハラ、いじめに気付き身を守る指導、人間関係や学習上・生活上児童生徒が困っていることの積極的な把握と早期対応の体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶と感謝の言葉がよく聞かれたという保護者90%以上、職員100%</li> <li>・児童生徒の人間関係や学習上・生活上困っていることの積極的な把握に努め、早期に組織で対応したと答える教員100%</li> </ul>	生徒指導 学部 学年
	<b>未然防止への行動力と有事への対応力の向上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各マニュアルの理解、日常的な事故原因の発見と情報共有</li> <li>・健康及び安全等に配慮した学習環境の設定</li> <li>・事務室と各学部及び各分掌における行事や予算等に係る密なやりとり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの情報共有100%</li> <li>・有事の際の自分の動きを具体的に想定できる職員100%</li> <li>・学習中のけがや病気の発生ゼロを目指し、具体的な予防策に取り組んだ教員100%</li> <li>・予算立案・執行に係る事務室と各学部・各分掌課との協働100%</li> </ul>	防災 保健給食 体育 スクールバス 生徒指導 総務 事務
連携	<b>豊かな地域資源への深い理解とそれを活かした実践、発信</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「麻活」の充実のための情報提供と職員研修の実施</li> <li>・学校運営協議会との協働</li> <li>・学校ホームページの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12年間の麻活の指導内容を理解している教員100%</li> <li>・本校の麻活の取組を知っていると答えた保護者90%以上</li> </ul>	地域連携 学部 図書
	1年後、3年後、卒業後の夢づくりと関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携機関や進路先との個別の教育支援計画の有効活用</li> <li>・一人一人の夢づくりと個別の指導計画を活用した目標達成のための具体策の検討と共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年後、3年後、卒業後の夢の実現に向けた具体的な取組を示すことができた教員100%、目標を共有して取り組むことができたと答える保護者95%（小100%、中95%、高90%）以上</li> </ul>	進路指導 地域連携 自立活動